

まごころ

第54号

発行日 平成24年10月1日
発行 星が丘地区社会福祉協議会
相模原市中央区星が丘3-1-38
星が丘公民館内
TEL 042-755-9955
編集 広報紙編集委員会

福祉コミュニティ形成事業に向けて



光が丘にぎわい処見学



東林いこいの広場見学

福祉コミュニティ委員会
委員長 竹田 幹 夫

当協議会では、この地区に福祉コミュニティを形成することを検討するために、今年度より福祉コミュニティ委員会を発足しました。現在、他地区の視察や勉強会を行っていますので興味のある方は、この委員会に参加してみませんか、大歓迎です。

「福祉コミュニティ」とは「人と人がつながりを持って、みんなが安心して暮らせる社会」のことです。現在も同様の趣旨で高齢者向けや子育て向けのサロンを地域の民生・児童委員やボランティアを中心に開催していますが、委員会ではもう一歩前進させた取り組みができないものかと検討中です。

まず、他地区の事例を参考にしようと光が丘と東林地区へ行ってきました。両地区共、みんなの居場所作りができています。困り事の相談相手がいったり、手作り昼食（有料）があつて来場者同士が語り合えたりする場所で、全て地域のボランティアで運営していました。

昨年、東日本大震災以来、防災対策と同時に絆の大切さを再認識させられました。委員会では今後、星が丘地区の課題抽出を行い、地域の力で出来ることを模索し実現する予定です。みなさんの知恵と力が必要ですのでご協力をお願いいたします。

これからの事業予定

(詳しくは地域情報紙をご覧ください)

		参加自由		場所	星が丘公民館
地区 敬老 事業	映 画 会	10月12日(金)	9:30~ と13:30	の2回	昔懐かしい映画です。
	コンサート	10月30日(火)	10:00~12:00		箏と津軽三味線の演奏です。
みんなの ついで	福祉バザー	10月28日(日)	10:00~13:00		地域のみなさんのご協力でお安く提供いたします。
	フェスティバル	12月予定	10:00~12:00		松ぼっくりツリー作り、クリスマスカード作り、反射材入り毛糸で作る小物作り
	映 画 会	3月予定	未定		内容は地域情報紙をご覧ください。
街 頭 募 金		10月 1日(月)	16:00~17:30		オーケー相模原店・中村書店
広 報 紙 発 行 (年2回)		10月 1日(月) 3月 1日(金)	まごころ54号発行 まごころ55号発行		

皆様のご協力
ありがとうございました。

日赤社員増強運動結果報告

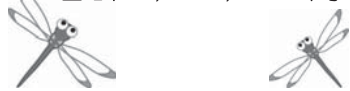
1,009,050円

市社協賛助会費結果報告

特別 386,000円

一般 626,600円

合計 1,012,600円



「創造舎」!!何だろうと思われる人が多いのではないのでしょうか。発足当初は「地域作業所・創造舎」でした。現在は「就労支援施設・創造舎」が正式名称です。障害者自立支援法に基づく障害者のためのサポート施設というわけです。いろいろな障害をもち、働くことが困難な人たちの「助走」のための施設と位置づけられております。

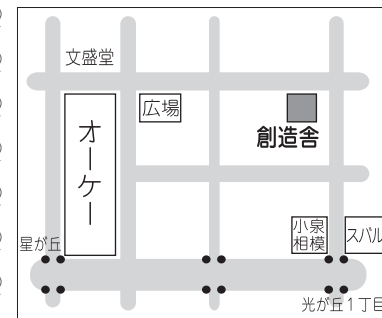
「創造舎」という名称は創立者が、どんな人も本来持っている「内部分力」を発揮できるように、職員がサポーター役となって引っ張り出す施設であって欲しいという思いで名づけられたそうです。

現在約30名のメンバーを5人の職員が就労支援のみならず、生活支援も含めたサポートを行っております。この様な「創造舎」を暖かく見守っていただけたら幸いです。

創造舎 阿部

創造舎

相模原市中央区
千代田6-11-10
Tel.042-751-0200



編集委員紹介

鈴木 末廣 (福祉経験者)
小林 茂夫 (民生・児童委員)
内田 涼子 (民生・児童委員)
奥山 憲雄 (星が丘公民館)
阿部 美雪 (障害者福祉施設)
菊田 康子 (星小PTA)

キャップ・プルタブ回収散

	24年4月 ~24年10月	19年~累計
ペットボトル キャップ	92.2kg	1,582.2 kg (ワクチン約791人分)
プルタブ	9.7 kg	236.9kg (約ドラム缶1本目)

・ペットボトルキャップは1kg(約400個)10円、20円でポリオワクチン一人分になり、NPOエコキャップ推進協会より発展途上国に送られます。

・プルタブはドラム缶約7本で車椅子一台と交換できます。

編集後記

厚い雲に小雨。5月21日の朝、金環日食を見ることは出来ないだろうと誰もが思ったのではないのでしょうか?星小の子ども達も日食グラスを手に校庭へ集合。雲がなくなるようにと皆で空を仰ぎました。

皆の気持ちを通じたのでしょうか。雲の間から少し、また少しとリングを見ることで、歓声と拍手にわきました。あきらめていただだけに、貴重な天体ショーを見ることができた時の感動はひとしお大きなものとなりました。

(Y・K)

平成24年度の事業計画が決まりました

※サロン活動助成

平成24年4月17日、当地区社協の定期総会が行われ、平成23年度事業及び決算の報告等並びに平成24年度事業計画及び予算が承認されました。既に年度途中ではございますが、平成24年度の事業計画を中心に次の通り報告いたします。なお、事業実施日程等につきましてはその都度発行される地域情報紙等をご覧ください。

地区内で活動している高齢者を中心とした四つの「いきいきサロン」及び三つの「子育てサロン」に対する助成。

※広報紙「まいご」の発行

平成24年度の事業計画を中心に次の通り報告いたします。なお、事業実施日程等につきましてはその都度発行される地域情報紙等をご覧ください。

10月と3月の2回、A4サイズ二つ折り4ページを4,500部発行し、自治会を通じて配布。

※みんなのつどい事業

フェスティバル2回、映画2回、福祉学習会1回を開催。

※児童福祉事業

子どもまつり、春休み子ども映画会等公民館等の事業と共に行う。

※地区敬老事業

昨年と同様に星が丘地区として、民生・児童委員の協力をいただいて敬老祝い品の配布及び映画等を開催。なお、実施にあたっては、市からの補助金の他に当地区社協の予算からも充てたいします。

※福祉バザー

例年通り、地区内関係団体の協力をいただいて福祉バザーを開催。

※福祉活動団体への助成

青少年健全育成協議会等福祉活動を進めている地域内5団体に対する助成。



平成23年度福祉バザー

その他、本紙にも記載してありますが、福祉コミュニティ形成事業にも取り組みます。

※募金活動

日本赤十字社社員増強運動日赤募金への協力、市社協賛助会員募集及び共同募金運動(赤い羽根募金、年末たすけあい募金)の実施。

敬老事業のお知らせ

敬老の日を迎え、高齢者の皆さまご長寿誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

星が丘地区では敬老事業を次のとおり予定しております。

一 敬老事業の概要

昨年度同様に相模原市からは敬老祝い金が贈呈されます。また、星が丘地区では地区社会福祉協議会が敬老祝い品を配布するとともに、映画会及び等と津軽三味線のコンサートを開催いたします。なお、映画会終了後、お茶会を予定しております。

二 相模原市の敬老事業

○敬老祝い金の贈呈

平成24年4月1日からお住まいで、次に該当される方々に敬老祝い金が贈呈されます。

9月15日現在 77歳、80歳、88歳、90歳、95歳、99歳、100歳以上の方。

このお祝い金は既に9月上旬、民生・児童委員がお届けさせていただきました。

三 星が丘地区の敬老事業

(1) 敬老祝い品の配布

平成24年4月1日からお住まいで7月1日現在77歳以上の方に民生・児童委員が、お届けいたしました。

■「朝地震があつて、夕方から仲良くできますか」

始めに「地域で防災」というビデオを見ました。その中で印象的だったのがこの言葉です。災害時、まずは自助が必要だが、すぐ助けてくれるのは地域の人、すなわち共助。そのためにも日頃から地域の訓練に参加するなど近所と親しくしていることが大切、とのことでした。

■地震体験と津波について学習

続いて地震体験コーナーで震度6強という揺れを体験し、そのリアルな揺れに恐ろしさを感じました。また家具の転倒防止対策の効果などを見ました。更に津波発生メカニズムや、もし津波に遭遇したら等について学ぶことができました。

静岡駅近くの施設です。ご家族で訪問されてはいかがでしょうか。



福祉学習会 6月30日(土)

「大地震に備えよう」～いざなびをしよう！～の準備

阪神・淡路大震災の教訓をふまえて、災害救助ボランティアの民間団体として結成され、日常的に地域防災等に取り組んでいる災害ボランティア推進委員会の方を講師にお招きして、お話を伺いました。

○第一部講義「備えておきたい最初の3日間の防災グッズ」

講師 災害救援ボランティア
セーフティリーダー
古池佳子さん

最初に自分で避難所に何を持って行けば良いかを参加者で考え、その後備えておきたい防災グッズの解説をして頂きました。

◎必携防災グッズ

震災後3日間は救援物資は届きません。一番困るのは水とトイレです。

① 45ℓのゴミ袋は断水時、トイレの便座に敷いて新聞紙や猫砂を入れると用が足せ、後にゴミとして処分できます。又、水の運搬・敷物・防寒・雨具にも使えるので、多めに用意しておく。

② 水は常にペットボトル等に用意し、古くなったら生活用水に使い入れ替えをしておく。(1人1日3ℓ必要です)

○第二部演習編「イメージトレーニング法を用いて」

講師 災害救援ボランティア
推進委員会 事務局員
仁藤智治さん

家には力セットコンロとボンベ、カセットストーブも備えておくこと良い。

③ 懐中電灯は、キーホルダータイプのLEDライトで、ソーラー充電の物は電池の心配がありません。ヘッドランプは両手が使えます。④ 食品はゼリー飲料がすぐ食べられて良い。アメ・クッキー・パッくご飯・缶詰等備えておく事。

⑤ 他に携帯ラジオは必須。ウエック・油性ペンも非常袋に入れておく事。

東京大学の目黒教授の研究室で開発されたイメージトレーニング法(目黒巻)を用い、問題点を出していくという演習をしました。このポイントとは「気づき」だそうで、くり返しトレーニングをする事で、日常生活では気づかない危険に気づき、足りない備えを感じ、実際の行動につなげるというものです。

自治連と合同で視察研修

静岡県地震防災センターに

7月12日、社会福祉協議会の理事と自治会長合同の視察研修があり、静岡県地震防災センターを訪れました。このセンターは、東海地震に立ち向かう知識と技術の普及向上、防災意識の高揚を図ると共に、自主防災組織の活性化を図ることを目的に作られたものです。

(2) 映画会・コンサートの開催

次のとおり映画会・コンサートを開催いたします。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。お友だち等をお誘いの上、お気軽にご参加下さい。なお、駐車場がございましたのでお車でのご来場はご遠慮下さい。

●映画会(85分)

☆千姫と秀頼

(美空ひばり、中村銀之助)

10月12日(金)

上映 午前9時30分より

午後1時30分より

会場 星が丘公民館大会議室

●コンサートの開催(90分)

☆箏

箏デュオ織音

☆津軽三味線 中川紘汰さん

10月30日(火)

開演 午前10時より

会場 星が丘公民館大会議室

今後もお体に気を付けて、ますますお元気にお過ごし下さい。